

日進市 データヘルス計画
(国民健康保険)
に関する実績および評価報告書

[平成29年度評価]

平成30年12月

(評価)

事業実績やKDBおよびA I c u b e から必要なデータを抽出し評価を行いました。

アウトプット指標についてはほとんどの実施事業にて 29 年度の目標値を達成していませんが、アウトカム指標については事業の半数にて 29 年度の目標値を達成しています。

「特定保健指導事業」については、実施率 17.6%と愛知県平均 16.5%を上回り、過去 5 年の中で一番高い実施率となりました。

「重症化予防対策事業」については、アウトプット指標、アウトカム指標とも達成していませんが、事業の評価指標としてアウトプット指標「受療率」、アウトカム指標「人工透析患者数」は、事業以外の影響も大きいことから、指標として再検討する必要があると考えます。

運動普及事業・たばこ対策事業については、アウトプット指標、アウトカム指標とも達成していません。主担当課と指標等再検討していく必要があると考えます

第 2 期データヘルス計画においては、日進市国民健康保険加入者の生活背景や今後加速する高齢化を視野に入れながら、データによる現状分析から課題を把握し、加入者の健康づくりに加え 5 年先の医療費抑制を目標としていきます。

事業名	アウトプット指標		アウトカム指標		判定
	前年度比	29 年度目標値	前年度比	29 年度目標値	
特定健康診査事業	×	×	○	○	A
特定健診未受診者対策事業	○	×	○	○	A
特定保健指導事業	○	×	×	×	C
健康講演会事業	×	×	○	○	A
成人歯周疾患検診事業	○	○	○	○	A
運動教室事業	×	×	○	○	A
重症化予防対策事業	×	×	×	×	D
がん検診事業	○	○	×	×	B
広報誌掲載事業	×	○	×	×	B
運動普及事業	×	×	×	×	D
たばこ対策事業	×	×	×	×	D
後発医薬品差額通知事業	○	○	○	○	A

「○」：平成 29 年度の値が、改善または目標達成できたもの

「×」：平成 29 年度の値が、改善または目標達成できていないもの

「-」：新規事業のため前年度と比較ができないもの

A：アウトカムの直近値が当該年度の目標値を達成している

B：アウトプットの直近値が当該年度の目標値を達成している

C：アウトカムとアウトプットの直近値のいずれかが前年度値より改善している

D：アウトカムとアウトプットの直近値がともに改善されていない

事業名	特定健康診査事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	生活習慣病の予防に着目した効果的・効率的な特定健康診査を実施し、被保険者の健康管理を図る。同時に未受診者対策を実施し、受診率向上を図る。
目標	① 受診率 60.0% ② 1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率 2.7%
対象者	40歳以上の国保被保険者
事業内容	個別健診と集団健診を実施。
実施方法	個別健診は医療機関へ予約して受診。 集団健診は健診実施日の中から希望する日程を選んで保健センターで受診。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	<p>基本検査項目に血清クレアチニン・尿潜血の項目を追加</p> <p>①個別健診 5月下旬に受診券を送付し、11月30日までに市内の指定医療機関で受診する。健診データ作成システム改善を行い、健診受診日から1ヶ月程度で結果通知が届くようにすることで要精密・要受診の者が早期に受診できる環境を整備した。</p> <p>③ 集団健診 5月下旬に送付する受診券に案内ハガキを同封。7月・9月・2月の土日を中心に3日ずつ、計9日間実施した。 電子申請での申込受付を実施した。 希望者は、がん検診（胃・肺・大腸・子宮・前立腺）も同時に受診を可能にした。 集団健診では結果説明会を開催し、同日に保健指導の初回面接を実施した。 2月実施分は、個別および集団健診未受診者へ勧奨通知を行った。</p> <p>④ 特定健診を受診した方には、健康マイレージを付与した。</p>
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		健診受診率（法定報告値より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			47.0%	55.0%	60.0
	(実績)	44.9%	42.3%	44.3%	42.8%	41.5

アウトカム指標

指標名		1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率				
年度		24～25	25～26	26～27	27～28	28～29
指標データ	(目標)			2.7%	2.7%	2.7%
	(実績)	2.9%	-2.0%	3.1%	1.3%	1.0%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
------	---------	------

評価の理由	アウトカム指標である「1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費」の増加率については、年度目標達成かつ前年度比改善している。しかしながらアウトプット指標である「健診受診率」は年度目標未達成かつ前年度比減少している。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 次年度（平成 30 年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	特に40代（22.6%）、50代（32.7%）と受診率が低く、受診勧奨方法について、継続的なアプローチを行いつつ、その方法については今後改善の余地がある。
------	-------------------------------------------------------------------------------

事業名	特定健診未受診者対策事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	特定健診の未受診者へ勧奨を行って受診を促し、生活習慣病予防へつなげる。
目標	①過去5年間に一度も受診歴のない人等の解消 3,800人 ②1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率 2.7%
対象者	特定健診未受診者
事業内容	特定健診未受診者へ特定健診の説明と受診勧奨を行う。
実施方法	対象者へ勧奨ハガキを送付する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	①9月5日に40歳の未受診者126名、41歳～59歳の未受診者2,980名に対し受診勧奨を実施。 ②9月22日に27年度・28年度の未受診者4,690名に対し受診勧奨を実施。 ③12月14日に未受診者6,769名に対し集団健診の受診勧奨を実施。
----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		2年連続未受診者数（割合）（AICubeより）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	100名の未受診者解消	100名の未受診者解消	100名の未受診者解消
	(実績)	4,046人	4,021人	4,150人	4,154人	4,109人

アウトカム指標

指標名		1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率				
年度		24～25	25～26	26～27	27～28	28～29
指標データ	(目標)	/	/	2.7%	2.7%	2.7%
	(実績)	2.9%	-2.0%	3.1%	1.3%	1.0%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトカム指標である「1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費」の増加率については、年度目標達成かつ前年度比改善している。アウトプット指標である「2年連続未受診者数」については、前年度比で改善されたものの、年度目標は未到達である。	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	勧奨回数や実施時期・実施方法について引き続き検討し、対象者別の効果的な勧奨を実施する。特に40代・50代の意識を高める取り組みを積極的に実施する。
------	---------------------------------------------------------------------------

事業名	特定保健指導事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	保健指導を実施することによりメタボリックシンドロームを減少し、生活習慣病の予防を図る。
目標	①実施率 60% ②改善率 50%
対象者	動機付け支援及び積極的支援該当者
事業内容	各対象者へ6ヶ月間、特定保健指導を実施する。
実施方法	医療機関・委託業者の2機関により実施する。 対象者への文書による通知、電話による勧奨、また、結果説明会を開催して同日に初回面接を実施する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	③ 医療機関による保健指導は、12の医療機関で実施。12名が実施した。 ③ 集団健診を実施した委託業者（医）名翔会により健診結果説明会を開催し、同日に初回面接を21名に実施した。また、(株)名豊による保健指導は文書による勧奨後に電話での勧奨を行い、対象者の保健指導への参加を促した。初回面接実施者が50名であった。
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		実施率（法定報告値より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	20.0%	20.0%	20.0%
	(実績)	8.9%	13.3%	10.4%	8.3%	17.6%
指標名		集団健診受診者の特定保健指導実施率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	/	27.0%	27.0%
	(実績)	23.1%	18.1%	22.3%	26.5%	24.8%

アウトカム指標

指標名		改善率（法定報告値より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	30.0%	40.0%	50.0%
	(実績)	19.4%	20.9%	19.4%	19.4%	17.1%

(2) 評価

評価結果	A · B · C · D	改善が必要
評価の理由	<p>アウトプット指標について 「実施率」は国保全体における特定保健指導を評価する指標となっており、年度目標未達であるが、前年比においては改善された。 「集団健診受診者の特定保健指導実施率」は委託業者による特定保健指導を評価する指標となっており、年度目標未達であり前年比も改善していない。 アウトカム指標については、年度目標未達かつ前年度比と改善していない。</p> <p>実施率向上に向けて ①健康講演会や結果説明会などと合わせた勧奨 ②保健センターガイド、広報誌、ホームページなどでの周知 ③集団健診を受診された特定保健指導該当者に、保険年金課職員と健康課保健師で戸別訪問を行い、勧奨を行う。 ④個別健診を受診された特定保健指導該当者に、委託業者による電話勧奨や個別訪問勧奨を行う。 ⑤特定保健指導の実施日を増やすなどの取り組みを行った。</p> <p>「実施率」と「集団健診受診者の特定保健指導実施率」に乖離があることは、個別健診の受診者が、特定保健指導に繋がっていないことを示している。引き続き国保全体としての実施率向上に向けての取り組みを継続していくが、特に個別健診受診者の実施率向上については受診者のみならず、医療機関へのアプローチも必要と考える。</p>	

4 次年度（平成 30 年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	<p>① 対象者へ戸別訪問を引き続き行い、保健指導への勧奨を実施し、引き続き実施率向上に積極的に取り組む。</p> <p>② 医療機関の特定保健指導の実施率向上について、医療機関への訪問を行う。</p> <p>③ 個別健診受診者が結果説明を受ける際、データ説明だけでなく、特定保健指導の必要性についてもパンフレットを用い説明を行う等、医療機関での特定保健指導勧奨を確実にを行うシステム作りを行う。</p> <p>④ メタボリックシンドロームについて、また予防法について医学的な視点からもアプローチを行い、特定保健指導の必要性が理解されるような周知方法を検討する。また、過去の特定保健指導実施者の記録等から指導効果を検証し、特定保健指導の効果を活用した周知方法を検討する。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	健康講演会事業		事業開始年度	平成27年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	主に生活習慣病に関する講演会を実施することにより、参加者の行動変容を促す。
目標	①生活習慣改善のための行動変容への動機付けが向上した人の割合（参加者） 80.0% ②改善率 30.0%
対象者	特定保健指導対象者
事業内容	主に生活習慣病に関する講演会を実施する。
実施方法	特定健康診査等アドバイザーである名古屋学芸大学教授 北川元二先生を講師に招き、保健指導対象者の参加を促し保健指導の実施に繋げる。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	講演会と集団特定健診を同時開催し、参加者の健康意識を高め、特定保健指導に繋がるよう行動変容を促した。
----------------	----------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		生活習慣改善のための行動変容への動機付けが向上した人の割合（参加者）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	80.0%	80.0%	80.0%
	(実績)	/	/	80.0%	87.5%	70.0%

アウトカム指標

指標名		講演会参加者の改善率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	30.0%	30.0%	30.0%
	(実績)	/	/	60.0%	50.0%	80.0%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトプットである「生活習慣のための行動変容への動機付けが向上した人の割合」については、年度目標未達かつ前年比改善していない。アウトカム指標「講演会参加者の改善率」については目標を達成することができた。	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	第二期データヘルス計画において課題である糖尿病に焦点を当て、より対象者に効果的な内容にすることにより、行動変容を促す。
------	-------------------------------------------------------------

事業名	成人歯周疾患検診事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	節目年齢者に歯科検診及び保健指導を行うことにより、早期の歯周病患者の予防と口腔衛生の改善を図り、歯の喪失を予防する。
目標	① 受診率（補助対象者） 12.0% ② 1人当たり歯科医療費の増加率 2.4%
対象者	30歳～75歳までの5年毎の節目年齢者
事業内容	30歳から75歳までの5年毎の節目年齢者に歯科検診を実施する。70歳未満の国保加入者に検診の自己負担分を補助することで、受診の促進を図る。70歳以上は自己負担金が無料。
実施方法	市内歯科医療機関にて実施。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	4月上旬に受診券を送付。その際に、歯周病に関するチラシを同封し、知識の普及を図った。また、糖尿病と歯周病に関する内容を盛り込んだ。 10月下旬に30～60歳の7階級に対して勧奨通知及び歯の喪失に関するチラシを送付した。 歯科医療機関へ前年度の実施状況の分析を還元し理解・協力を得た。 平成27年に改正された歯周病検診マニュアルに準じて歯科検診を実施した。
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		受診率（補助対象者）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			12.0%	12.0%	12.0%
	(実績)	9.4%	8.3%	13.3%	11.6%	12.9%

アウトカム指標

指標名		1人当たり歯科医療費の増加率				
年度		23～25	24～26	25～27	26～28	27～29
指標データ	(目標)			2.4%	2.4%	2.4%
	(実績)	2.4%	3.8%	9.4%	7.7%	-0.3%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトプット指及びアウトカムの各指標とともに目標を達成することができた。	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	受診券に同封するチラシの内容に糖尿病との関連を具体的に記載するなど、他疾患との関連についての記載を改善し周知を図る。
------	------------------------------------------------------------

事業名	運動教室事業		事業開始年度	平成21年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	特定保健指導利用者に個々の健康特性や状態（リスク）に応じた適切な運動プログラムを提案し、運動習慣の定着を図り、生活習慣改善への行動変容を目指す。
目標	①1日1時間以上運動する人の割合（参加者） 90.0% ②改善率 40.0%⇒H27年度に目標値到達したため50%に上方修正
対象者	特定保健指導利用者
事業内容	特定保健指導利用率向上のためのインセンティブ事業。、40.50歳代が利用しやすいよう夜間・休日に利用できる環境を整え、また個々の運動課題に対して一人ひとり丁寧にアプローチすることを目的として、平成29年度より個別運動プログラムを提案。利用券を配付することにより運動習慣の定着を目指す。
実施方法	特定保健指導利用者に利用券を交付する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	特定保健指導の初回面接実施者に対して、日進市スポーツセンターの利用券（4回分）を交付し、運動習慣の定着を図った。30名が利用し、36回分の利用券が使われた。
----------------	--------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		1日1時間以上運動する人の割合（参加者）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	90.0%	90.0%	90.0%
	(実績)	37.5%	70.8%	36.4%	50.0%	46.7%
指標名		教室参加者				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	40名	40名	40名
	(実績)	26名	25名	33名	27名	30名

アウトカム指標（※ 当初計画の目標値に到達したため、目標値を再設定する。）

指標名		参加者の内臓脂肪症候群の改善率				
年度		25	26	27※	28※	29※
指標データ	(目標)	/	/	50.0%	50.0%	50.0%
	(実績)	12.5%	33.3%	68.0%	55.6%	70.5%

(2) 評価

評価結果	A ・ B ・ C ・ D	継続実施
評価の理由	アウトプット指標である ①「1日1時間以上運動する人の割合(参加者)」については、年度目標未達であり、前年度比も改善されていない。 ②「教室参加者」については、年度目標未達であるが、前年度比において改善された。 アウトカム指標である「参加者の内臓脂肪症候群の改善率」については、年度目標および前年度比ともに改善された。	

4 次年度(平成30年度)事業の進め方「ACTION(改善)」

改善内容	利用者にとって個々の身体状況や運動能力に見合ったプログラムであるか、また運動の効果について参加者の反応はあるか等、指導者と確認を行うことで、生活習慣病予防の視点で効果的な運動プログラム内容に改善する。 アウトプット指標については、運動習慣としての定義(国民栄養調査)「週2回以上1回30分以上、一年以上運動しているもの」より週2回以上、1回30分以上運動する人の割合へ変更。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	重症化予防対策事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	健診結果から要治療となった方のうち、医療機関へ受診していない未治療者へ受診勧奨を行い、受診を促して重症化を防ぐ。
目標	①受療率 50.0% ②人工透析患者数 17人
対象者	未治療者
事業内容	未治療者に医療機関への受療勧奨を行う。
実施方法	通知の送付により実施。

2 実施結果「D0（実施）」

平成29年度 実施内容	健診の結果、HbA1cの値が7.0以上で、6ヶ月以上医療機関へ受診していない被保険者14人に対し、郵送で通知した後、戸別訪問を行い、受診勧奨を行った。うち4人が医療機関へ受診をした。
----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		受療率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			50.0%	50.0%	50.0%
	(実績)			35.3%	21.4%	28.6%

アウトカム指標

指標名		人工透析患者数				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			17人	17人	17人
	(実績)		18人	23人	20人	31人

(2) 評価

評価結果	A・B・C・ D 継続実施
評価の理由	アウトプット指標である「受療率」については、年度目標未達かつ前年度比改善していない。 アウトカム指標である「人工透析患者数」については、年度目標未達かつ前年度比で改善されていない。 継続実施の方針だが、アウトプット指標およびアウトカム指標の関連性については検証の余地があると思われる。

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	保険年金課職員と健康課職員による戸別訪問を行う。勧奨通知、訪問資料等媒体の工夫を行い、医学的なアプローチを行う。正しい知識を提供することから病状が悪化することによる合併症の怖さや受診する必要性について気付いてもらうよう保健指導を行う。単年での指導で終わらず必要があれば継続性を持って支援する。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	がん検診事業		事業開始年度	昭和44年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	がん検診の実施及びがん検診推進プロジェクトを行うことで、がん検診の受診促進に繋げる。
目標	①集団特定健診におけるがん検診受診件数 延べ1,200件 ②1人当たり医療費の増加率 1.3%
対象者	40歳以上75歳未満の国民健康被保険者
事業内容	①個別がん検診 受託医療機関にて胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を実施した。 ②集団特定健診同時がん検診 保健センターにて実施する集団健診に合わせて肺・大腸・子宮・前立腺のがん検診を実施。 ③集団がん検診 胃・大腸・乳・子宮がん検診を実施。 ④がん検診推進プロジェクト チラシやポスター、啓発物品等による周知や節目半額制度の実施。
実施方法	①個別がん検診、集団特定健診 ②個別がん検診、集団特定健診同時がん検診 5月下旬に個別がん検診受診券及び集団特定健診申し込みハガキを個別通知し、希望者は市へ申し込む。健康課と連携して事業を実施する。 ③個別がん検診、集団がん検診 ④4月発行の保健センターガイドに申し込みハガキを添付。また、市ホームページ等にて周知する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	①個別がん検診 受託医療機関にて胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を実施した。 ②集団特定健診同時がん検診 保健センターにて実施する集団健診に合わせて胃・肺・大腸・子宮・前立腺のがん検診を実施。各がん検診は9回実施した。 ③集団がん検診 胃・大腸・乳・子宮がん検診を19回実施した。 ④5月下旬に節目年齢者へ節目半額券を送付し、節目半額制度の充実を図った。 ⑤がん検診推進プロジェクトの実施 ア チラシやポスター、横断幕、マグネットシート、啓発物品等による周知を実施した。 イ 節目対象者や乳幼児健診保護者などさまざまな年代への通知にチラシを同封するなど、「がん検診」の文字を目にできるよう周知した。 ウ 保健センターガイド（全戸配布）についている専用ハガキや専用フォームでの申込み受付により、申し込みしやすい体制整備。様々な案内に市ホームページのがん検診ページにリンクできるQRコードを掲載した。 エ 協会けんぽの健診案内にチラシを同封、第一生命の生涯設計プランナーによるチラシ配布及びアンケートの実施、商工会での健診時にPRするなど関係機関との協働での周知を実施した。 オ 乳がんモデルを保健センター窓口に展示し、周知した。
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		集団特定健診におけるがん検診受診件数（延べ）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	（目標）			1,200件	1,200件	1,200件
	（実績）	448件	1,036件	1,196件	1,197件	1,467件

アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23～25	24～26	25～27	26～28	27～29
指標データ	（目標）			1.3%	1.3%	1.3%
	（実績）	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	7.2%

(2) 評価

評価結果	A · B · C · D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「集団特定健診におけるがん検診受診件数（延べ）」については、年度目標達成かつ前年度比改善している。</p> <p>アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比同値。</p> <p>集団特定健診と同時受診の胃がん検診が実施できる日を増加させたことにより、受診件数が改善された。</p> <p>今後も継続実施し、より受診しやすい環境整備に努める。</p>	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ①40歳以上及び節目年齢対象者すべてに、がん検診等受診券を送付。 ②スギ薬局のチラシにがん検診PRを掲載。 ③健康福祉フェスティバルの際に、がん患者会と協力してPRを実施。

事業名	広報誌掲載事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	広報誌に医療費、健康等の情報を掲載し、市民の健康意識の向上を図り、医療費の増加を抑制する。
目標	① 広報誌への掲載回数 年間2回 ② 1人当たりの医療費の増加率 1.3%
対象者	日進市民
事業内容	医療費の状況や健康情報、特定健診等のお知らせを広報誌に掲載する。
実施方法	広報誌のワイド版で掲載する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	6月号・10月号の広報誌に特定健診のお知らせと医療費の状況を掲載した。
----------------	-------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		掲載回数				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	1回	2回	2回
	(実績)	0回	1回	2回	2回	2回

アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23~25	24~26	25~27	26~28	27~29
指標データ	(目標)	/	/	1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	7.2%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「掲載回数」については、年度目標達成しており、前年度と同値。 アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度と同値。 対策による医療費削減効果が現れるには、ある程度の年月を要すると考えられることから、アウトプット指標とアウトカム指標の関連性については、長期的な分析・検証が必要と考える。</p>	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	KDB等のデータを活用し、データから加入者の健康状態を分析する等、健康や保健事業に興味を引くような構成にする。また、医療の情報も同時に伝えることで医療費と健康についての関連性について理解を深める内容にする。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	運動普及事業		事業開始年度	平成23年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	「にっしん体操」を市全体で取り組み、国保加入者も含めた市民の健康意識の向上や健康維持につなげる。
目標	① 自主実施グループの増加 ② 1人当たり医療費の増加率 1.3%
対象者	日進市民
事業内容	にっしん体操は、体力に合わせて4種類あるため、対象に合わせて普及活動を行う。
実施方法	保健師等が市内の各団体へ訪問し、普及啓発を行う。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	体操スポットを新たに2か所立ち上げ、計17か所の支援を行った。 また、保育園の出前講座を13園実施したほか、体操指導者養成講座を行い、体操の普及を図った。
----------------	----------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		自主実施グループの増加数				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	6グループ以上増加	6グループ以上増加	5グループ以上増加
	(実績)	3グループ	5グループ	6グループ	5グループ	2グループ

アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23～25	24～26	25～27	26～28	27～29
指標データ	(目標)	/	/	1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	7.2%

(2) 評価

評価結果	A ・ B ・ C ・ D	継続実施
評価の理由	アウトプット指標である「自主実施グループの増加数」については、年度目標未達かつ前年度比改善されていない。 アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比同値。	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	体操スポットの新規立ち上げと継続的な支援を行う。また、幼稚園の出前講習会を実施する。
------	--------------------------------------------

事業名 担当課	たばこ対策事業		事業開始年度	平成16年度
	健康課	担当係	成人保健係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	禁煙・受動喫煙防止対策を実施して禁煙を促し、喫煙率を低下させる。
目標	① 特定健診受診者の喫煙率 10.0% ② 1人当たり医療費の増加率 1.3%
対象者	喫煙者
事業内容	禁煙や受動喫煙に関する体験談を募集し、それらを広く周知する。健康講演会などでも周知を行っていく。
実施方法	禁煙方法や受動喫煙に関する情報を提供する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成29年度 実施内容	広報への記事の掲載や、赤池駅前広場に看板を設置する等により、受動喫煙防止について周知を図った。 また、11月に健康福祉フェスティバルにて瀬戸保健所と共催で禁煙ブースを設け、啓発活動を実施した。
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		特定健診受診者の喫煙率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	10.0%	10.0%	10.0%
	(実績)	11.9%	11.4%	12.3%	10.9%	12.4%

アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23~25	24~26	25~27	26~28	27~29
指標データ	(目標)	/	/	1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	7.2%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・ D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「特定健診受診者の喫煙率」については、年度目標未達ではあり、前年度比も改善されていない。</p> <p>アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比同値。</p> <p>対策による医療費削減効果が現れるには、ある程度の年月を要すると考えられることから、アウトプット指標とアウトカム指標の関連性については、長期的な分析・検証が必要と考える。</p>	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	禁煙・受動喫煙防止を推進するため、継続的に広報や市民まつりなど様々な機会を通じて周知啓発を行っていく。
------	-----------------------------------------------------

事業名	後発医薬品差額通知事業		事業開始年度	平成25年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	後発医薬品差額通知を送付することで後発医薬品の普及促進を行い、医療費の縮減を図る。
目標	①後発医薬品への切替率 40.0% ②後発医薬品数量シェア 60.0%
対象者	国保被保険者
事業内容	指定医薬品などの条件から送付対象者を決定し、差額通知（ハガキ）を送付する。
実施方法	指定医薬品、差額、投与期間などから対象者を決定し、ハガキサイズの差額通知を送付する。年2回実施予定。

2 実施結果「D0（実施）」

平成29年度 実施内容	平成29年8月29日に1,228件送付。条件は、循環器官用薬・糖尿病用剤、投与期間7日以上、差額100円以上で作成。 平成30年2月28日に826件送付。条件は、循環器官用薬・糖尿病用剤、投与期間4日以上、差額100円以上で作成。
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		後発医薬品への切替率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	36.0%	38.0%	40.0%
	(実績)	29.6%	30.4%	36.4%	40.0%	42.3%

アウトカム指標

指標名		後発医薬品数量シェア（新基準）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	57.0%	58.5%	60.0%
	(実績)	49.7%	50.0%	54.4%	59.4%	63.0%

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトプット指標である「後発医薬品への切替率」については、年度目標達成かつ前年度比で改善している。 アウトカム指標である「後発医薬品数量シェア（新基準）」は、年度目標達成かつ前年度比で改善している。 事業について一定の成果があると認められることから継続実施とする。	

4 次年度（平成30年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	継続的な目標達成や将来的により高い目標値を目指していくには、送付対象を拡大や周知方法の検討が必要である。
------	------------------------------------------------------